

# 防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策の事業効果(局舎の耐水化)

平成30年7月豪雨等を受けて実施した重要インフラの緊急点検の結果を踏まえ、大規模洪水時に河川水位の確実な情報提供と、異常洪水時防災操作時におけるダム放流警報の確実な実施に向けて、浸水想定区域にある水位観測設備とダム放流警報設備の耐水化を推進しました。

## 河川水位観測設備の耐水化(嵩上げ)

- 耐水化が必要な水位観測局  
26箇所
- R2年度まで完了  
12箇所(整備率46%)  
残る箇所についても対策を推進中



大規模洪水時にも浸水することなく水位情報を発信



## ダム警報設備の耐水化(嵩上げ)

- 耐水化が必要な警報局  
16箇所
- R2年度まで完了  
5箇所(整備率31%)  
残る箇所についても対策を推進中



大規模洪水時にも浸水することなく警報情報を発信

